



## 【夏の感染症】

### ◎気をつけたい夏の感染症

#### ① 咽頭結膜熱（プール熱）

特徴：38℃～40℃の高い熱が数日続くこともあります。のどが痛みます。

白目が充血（赤くなる）し、まぶたが腫れ、涙や目やにが出ます。

登園の目安：熱や目の症状が治まった後、2日が経過していること。**医師の登園許可意見書が必要となるため登園前に再度受診となります。**

#### ② ヘルパンギーナ

特徴：高い熱が数日続くことが多く、口の中、のどに白っぽい水ぶくれができます。破れて潰瘍になると痛みが出ます。原因となるウイルスが複数あるため、繰り返しかかることがあります。

登園の目安：熱や口の中の水ぶくれ・潰瘍が治まり、普段の食事が摂れる状態であること。**医師の診断が必要になります。**

#### ③ 手足口病

特徴：口の中にポツポツができる、痛みのため飲食を嫌がります。

手のひら・足の裏に赤っぽい水ぶくれができて痛みます。原因となるウイルスが複数あるため、繰り返しかかることがあります。

登園の目安：熱や口の中の水ぶくれ・潰瘍が治まり、普段の食事が摂れる状態であること。**医師の診断が必要になります。**

## お知らせ

7月17日に全園児歯科健診がありますので、歯科のことで気になることがありましたら、担任までお声かけください。

### 【熱中症対策②】

◎子どもは体の70%が水分です。体温調節機能が十分発達していないにもかかわらず、代謝が活発な乳児・幼児は脱水を起こしやすいので注意が必要です。発熱のときも脱水に注意しましょう。

#### 《脱水になりやすい条件》

- ・汗をたくさんかいている
- ・食欲がなく、水分を摂れない

#### 《初期の脱水のサイン》

- ・トイレに行く回数やおしっこの量が少ない  
(おしっこの色が濃い)
- ・汗をかいていない
- ・唇や皮膚が乾燥している

#### 《脱水のサインが見られたら》

- ・経口補水液を少しずつ飲ませる

#### 《脱水が進行すると》

- ・顔色が悪い
- ・ボーっとしている、元気がない、ぐったりしている
- ・体温が上がる、皮膚が冷たくなる

#### 《脱水にならないために》

- ・外出前、あそび前に前もって少しずつ水分をとる
- ・食事にスープやみそ汁などを加える

